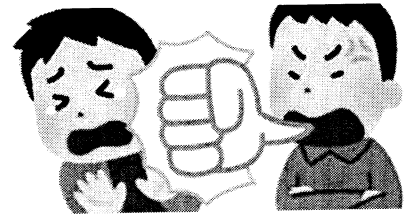


長い休業が明け、5月21日に学校が再開してから、一か月经ちました。ソーシャルディスタンスを基にした生活リズムへの変換。子供たち同士の交流が、進めば進むほどなかなか難しいと思う場面もあります。引き続き、3密を避け、マスクの着用、手洗い、消毒の徹底等に努めていきたいと思えます。

正しいことばで、こころを整える

さて、学校だけの指導ではどうにもならないことがあります。

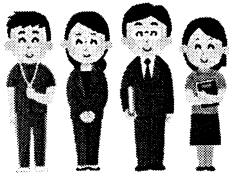
それは、「言葉づかい」です。学校生活におけるトラブルの原因は、この「よくない言葉づかい」によるものです。先日、中学年の教室で、この「言葉づかい」について子供たちと考える機会がありました。「言われたら傷つく言葉は？」の問いに、「ばか、ちび、消えろ、むかつく、ばばあ・・・」など、聞いているととても悲しくなる言葉がでてきました。決して教えたわけではないのに、苛立つと、とっさにいやな言葉を発してしまうことがあるのでしょうか。言われた人の気持ちを考えたら、とても言えない言葉です。



また、6年生との学習の中で、「どうしたら、いやな言葉を言わなくなれるかな？」と聞いたときに、「名探偵コナンの中に、いい言葉があったよ。」と教えてくれた女子がいました。それは、「言葉は刃物なんだ」という言葉です。そして、下の学年の子供たちにも意味が分かるように、注釈も加えて、その言葉を書いてくれました。他の子供たちにそのことを話すと、他にも心が元気になる言葉をどんどん考えてくれました。とてもうれしい出来事でした。

今、学校では、子供たちに言葉づかいを見直してもらうためにも、「言ってもよい言葉と、言ってはいけない言葉」の区別をつけるよう指導しています。ぜひ、保護者の皆さまにもご協力をお願いしながら、次代を担う子供たちに、適切な「言葉づかい」を身に付けさせたいと思えます。

学校教育活動の支援をしてくださる先生方の紹介



6月から、本校に二人の先生方が着任されました。スクール・サポート・スタッフの上田香織先生と、観察・実験アシスタントの高野陽子先生です。上田先生には、子供たちの学習のサポートを中心に勤務していただいております。高野先生には、理科の学習の補助をしていただいております。本校は、多人数の学級も半分あり、支援して下さる先生方のおかげで、子供たちも伸び伸びと学習に励んでいます。

ちょっといい話～子供たちの様子～

学級目標の掲示物がそろそろ出来上がってきました。子供たちが、目指す学年像をみんなで話し合って決めた目標のお披露目が楽しみです。中間報告として写真で紹介します。

